

Boogie®

—Five-Band Graphic EQ—

取扱説明書

MESA
ENGINEERING®

安全のための注意事項:

- ・ この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ この取扱説明書に書いてある事柄を順守して下さい。
- ・ 警告事項には十分注意して下さい。
- ・ 取扱説明書の指示に従って下さい。
- ・ この製品を水の近くで使用しないで下さい。
- ・ この製品を拭くときは乾いた布を使用して下さい。
- ・ 正しい電圧・電流を供給する、アースの取れた電源アダプターまたはユニバーサルタイプの電源(ペダルボード電源)を使用して下さい。誤った電圧や電流で当製品を使用すると、音質が損なわれたり、パフォーマンスが一定でなかったり、また製品にダメージを及ぼす危険があります。この説明書の末尾にある、正しい電圧・電力量・そしてアースグラウンドの仕様をご確認下さい。
- ・ 電池交換の際は、製品の底にある電池蓋を外します。内部部品の一部は大変精密で静電気によってダメージを受けやすいため、電源が入っているときは、蓋を開けたまま製品の底部を下側へ向けないように十分ご注意下さい。

この度は本製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。そしてMESAファミリーへようこそ！優れた品質の高い製品を作り出し顧客のニーズに対応するべく、我々はアメリカはカリフォルニア州にあるPetaluma(ペタルマ)の唯一の工場の一つ一つ同じ情熱をもって製品を完成させています。また、あなたが選ばれたこのエフェクトペダルは、ハンドビルドの高級アンプに携わっている、全く同じ人間の手によって生産されているのです。

Boogie® Five-Band Graphic

1970年代初頭、Boogie®サウンドは、そのハイゲイン・チューブプリアンプと時代の流れを変えるようなサステインによる新しい可能性をアーティスト達が発見したことにより、歌うような、ボーカルのようなリードワーク(演奏)に最も結び付けられていました。The Graphic EQは、そのスライダーコントロールによってエフェクトの微調整から、1x12の小型アンプと大型キャビネットの組み合わせを彷彿とさせるベースが強調されたサウンドまで、あらゆるサウンドキャラクターを詰め込んで発表されました。70年代終盤から80年代の初頭は、クラシックロックの終焉からメタルの夜明けを迎えた時代でしたが、それがまさにこのオンボード・ツールの持っている可能性が十分に認識され始めたときでした。Graphic EQ(グライコ)が搭載されたMARK II™ Boogieは”スタンダード(基準)”となり、ローとハイをブーストしつつ極端なミッド(中域)・カットを行うために使用され、この”Vカーブ”はハードロック/ヘビーメタルにおける”もう一つのサウンド”(プリティッシュではないも

の)として、新しいスタンダードとなったのです。その後MARK III™、Mark IV™そしてMark V™において、アイコンとなるアーティスト達がグラフィコを彼らのサウンドの主要部分として使用したことにより、ロックの歴史の中でそれぞれの位置付けを得たのです。現行のMARK V™に搭載された5-Band Graphic EQは、" Djent(ジェント)" やNu-Metalというジャンルで新しい世代のプレイヤー達が彼ら独自のユニークなヘビーサウンドを構築するにあたり、再び音楽シーンの最前線に戻ってきました。我々は今回誇りを持って、このロックの歴史の一部であるGraphic EQの、独立したペダル・バージョンを発表し、またそれはPetaluma(ペタルマ)工場と同様の品質のパーツでハンドメイドにて生産されています。今、あなたはこのパワフルなサウンド・シェイピングのためのツールをどのようなセットアップ(ギターに限らず)でも使用でき、またそれはアンプ前段でもエフェクトループ内でも、独自のトーンを生み出すことが出来ます。32mmのスライダーはオン・ボードタイプと同じ長さとなっており、同じ感覚で操作することができます。インプットとアウトプットのLEVELコントロールは、使用する器材に関わらず、入力と出力が最適になるように調整されています。アンプの入力段の前でもエフェクトループ内でも、必要に応じてフットスイッチで設定されたトーンを呼び出すことが出来ます。また、ハードバイパス方式を採用しているため、OFF時の信号に影響を受けません。The Boogie® Five-Band Graphic EQは9V電池一個で動作し(ペダルの消費電流は18mA)、また外付けの9V DCアダプターでも電源供給が可能です。また、このペダルでThe Boogie® Five-Band Graphic EQのパワーとクラシック"Vカーブ"トーンを得られるだけでなく、経験値のレベルやジャンル、また使用アンプのブランドなどに関わらず無限に近いトーンの可能性をもたらします。

機能と操作について

OUT(アウトプット)ジャック 楽器用ケーブルをこのジャックに接続し、反対側をアンプまたはアンプ側のエフェクトペダルのインプットジャックに接続します。

IN(インプット)ジャック 楽器用ケーブルをこのジャックに接続し、反対側をご使用の楽器(ギター)のジャックに接続します(高品質のシールドケーブルのご使用をお勧めします)。このジャックはスイッチングタイプとなっており、ケーブルを接続すると回路がONになります。ケーブルの接続によって回路がONになると内部の電池も消耗しますので、使わないときはケーブルを抜いておきます。

注意: インプットジャックにケーブルを接続したままにしておきたい場合は(ペダルボードご使用の場合)、外付けのDC9V電源アダプターのご使用をお勧めします。電源アダプターを使用時は内部電池からの電源供給が自動的にオフになりますので、電池の消耗を防げます。もし外部電源アダプターをペダルボード内で長期間使用する場合は、エフェクター内部の電池を取り外しておいて下さい(電池の腐食によるエフェクター内部の損傷を防げます)。

注意: ケーブルについてですが、エフェクター等に楽器を接続する際は、なるべく短くかつ高品質の楽器用シールド・ケーブルを使用するようにして下さい。そうすれば長いケーブルの引き回しによる音の劣化(特に高域のロス)を最小限にとどめます。我々は楽器のジャックからアンプのインプットジャックまでのトータルが約5.4~6mの長さとなるように推奨しています。も

しそれ以上の長さが必要になる場合は、音質を保つためバッファやラインドライバーの使用も一つの方法としてお考え下さい。

OUTPUT LEVEL(アウトプット・レベル)コントロール アンプに出力される信号の量(音量)を調節します(LOモードに近い音量にセットすることも出来ます)。INPUT LEVEL(インプット・レベル)コントロールによってアウトプットジャックに入る信号を増幅する際は、OUTPUT LEVELコントロールを設定してからにして下さい。OUTPUT LEVELの設定の範囲内であれば、アンプの入力段またはエフェクトループのどちらにおいても、余裕を持って音量の調整が可能です。OUTPUT LEVELコントロールがセンター(クリック)の位置に設定されている際は、ユニティーゲイン(ユニティーレベル)となります。

INPUT LEVEL(インプット・レベル)コントロール 入力信号の微調整を行います(楽器からの信号、またはアンプのエフェクトループを使用する際のSENDレベルのマッチングが容易になります)。最適なパフォーマンスと音質を得るために、EQ回路の入力段をオーバードライブさせないようにINPUTレベルを設定して下さい(INPUTレベルが高すぎると、不必要なクリップを起こしてしまいます)。コントロールが12時の位置(センタークリック)ではアウトプットの信号がユニティーゲイン(ユニティーレベル)となります(OUTPUTレベルとEQスライダも同様にセンタークリックの位置にあることが前提です)。

注意:ユニティーゲインについて INPUTレベルとOUTPUTレベルのコントロールの12時の位置(センタークリック)、EQスライダも同様にセンタークリックの位置にある場合はユニティーゲイン(=ユニティーレベル \cdot \cdot \cdot 入力と出力の信号が1:1の状態)となります。この二つのLEVELコントロールを使用する際は、お使いの機器に合わせて慎重にレベル調整を行ってください。またLEVELコントロールの調整をGLAYCON時に行う際には、BYPASS(バイパス)スイッチでON/OFFを切り替えながら、BYPASSモード(ユニティーゲイン)のレベルに大体等しくなるようにします。

FIVE BAND GRAPHIC EQ(5-BAND グラフィックEQ) グライコ(グラフィックEQ)は、スライダポットそれぞれの帯域で ± 12 dBのカット/ブーストが可能です。それによってとてもパワフルなレスポンスが得られますので、注意深く行わないとカットによって周波数に簡単に穴が開いたり、または耳障りなピーク(ブースト)を作ったりしてしまいがちです。

スライダによって無限にプレイヤー自身のシグネチャーサウンドが生み出せる一方で、一つの特別な周波数カーブがロックの歴史で名を刻みました。それがクラシック"Vカーブ"です。真ん中の(中域)750Hzスライダが下げられ、くぼんだサウンドを作るためにかなりの量の中域がカットされています。

次の二つ、Low(低域 80Hz)とLow Mid(低-中域 240Hz)のスライダがブーストされ、スタート位置の線の上の、真ん中と一番上の間に設定されており、巨大なボトムエンドを形成しています。

そして最後にHi Mid(高-中域 2200kHz)とHigh(高域 6600kHz)もブーストされ、スタート位置の線の上の、真ん中と一番上の間に設定されており、トップエンドに倍音のレイヤー(層)を形成します。

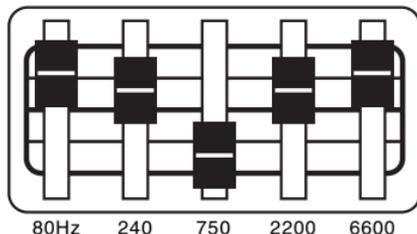
こうしてBoogie®の"Vカーブ"が完成します。多くのアイコンとなるアーティスト達が、ヘビーなサウンドを得るためにこのセッティングを40年に渡って使用しており、この素晴らしいサウンドに迫るものはそうはありません。そしてこのミッドカット

されたカーブは他の用途にも有効で、エキサイティングなものになります。

ここからは、この象徴的な“Vカーブ”を、お持ちのアンプやスピーカーキャビネット、ギターやピックアップまたその演奏方法にフィットするようにスライダーを調整してみてください。我々は一つの例としてこのポピュラーなカーブを紹介しましたが、実際は“正しい”カーブなんてものはありません。あなたの耳や手が納得するまで、色々なセッティングを試してみてください。

注意：一般にお勧めできるのがEQをOUTにした“フラットな”設定ですが、理由は必要以上にEQを操作することによって、欲しいサウンドがよく分からなくなることがあるからです(特に真ん中の750Hzの帯域でよく起こります)。耳が中域の無い方に慣れていき、多くの方がよりもっと中域をカットしがります。そんなときは、ギターという楽器が本来“中域”の楽器であることを思い出して、音のミックス上で抜けを良くするように中域を加えてみてください。

クラシック “Boogie V カーブ” の例



スライダーの下にあるカーブしたバーは、演奏中に誤ってスライダーを踏まないように保護するためのものです。

BYPASS(バイパス)スイッチ このスイッチは The Boogie® Five-Band Graphic EQ™を”ハード”バイパスします。シグナルパスから全ての回路が離れ、インプットからアウトプットまで一本のワイヤーで信号が伝達されます(ギター用ケーブルで使用されているすごく短いワイヤーと同じようなものです)。バイパス時は全てのコントロールが信号に対して無効になり、The Boogie® Five-Band Graphic EQ™による色づけが何もされないギター信号となります。

注意：ケーブルは長くなればなるほど静電性を帯びて高域のロスが生じますので、出来るだけ短めのケーブルを使用して下さい。

外部電源ジャック 外部電源アダプター(標準9V DCアダプター、プラグタイプはオス型)から電源を取る際のメス型ジャックです。

注意：本製品には電源アダプターが付属していません。

警告! 外部電源アダプターは、**DC9Vのセンターマイナスのプラグ極性(2.1mm x 5.5mmジャック)**のものを使用して下さい。機器にダメージを与えないために、AC9V電源アダプターは決して接続しないで下さい!

電池について 電源アダプターを電源ジャックに接続すると、内部電池からの電源供給が自動的にオフになりますので、電池の消耗を防げます。もし外部電源アダプターをペダルボード内で長期間使用する場合は、エフェクター内部の電池を取り外しておいて下さい(電池の腐食によるエフェクター内部の損傷を防げます)。

当製品は9V電池1個または標準の9V" DC" 電源アダプターでの使用が可能です。楽器店ですぐに試奏やデモンストレーションが行えるように、工場からは長寿命9V電池同梱で出荷されます。

注意:内部電池は、インプットジャックのスイッチ切替機能でON状態(電圧がかかった状態)になります。バッテリーを長持ちさせるためには、製品を使用していない時ケーブルをインプットジャックから抜いておくようにしてください。

9V電池のチェック、交換、取り外しの際には、外部電源ジャックの接続を切り、裏蓋の四隅を留めているプラスねじ4本を外してください。バッテリー、端子の向きを確認して、交換後も同じ向きになるようにしてください。

注意:9V電池ならどのようなものでも使用が可能です。マンガン電池、アルカリ電池だけでなく、充電式のニッケルカドミウム電池もご使用可能です。エフェクターマニアな方の中には、一般的なマンガン電池ならではのスイートな音を好む方もいますが、当製品に関しては、プレイヤーの好みに合わせて自由にお選びいただくことが可能です。

SPECIFICATIONS(仕様)

- ・ 寸法 (W/D/H) : 5.78" x 4.76" x 2.30" (146.8mm x 121mm x 58.4mm)
- ・ 重量 : 1.6lbs(726g)/電池込、1.5lbs(681g)/電池なし
- ・ ツールバイパス・スイッチ
- ・ 電池 : 9V DC (1個)
- ・ 消費電力 : 9V DC/18mA
- ・ 電源アダプター (別売) : Power Jack 2.1mm x 5.5mm, 9V DC センターマイナス
- ・ 入力インピーダンス : 1M Ω (最小500k Ω)
- ・ 出力インピーダンス : 10k Ω

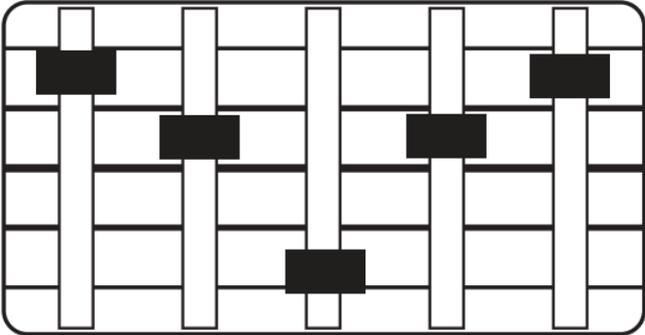
CLASSIC V-CURVE



OUTPUT
LEVEL



INPUT
LEVEL



80Hz

240

750

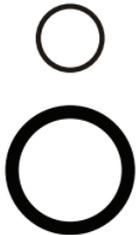
2200

6600

◀ OUT

IN ▶

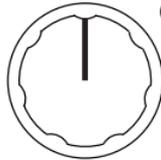
Boogie® Five-Band Graphic



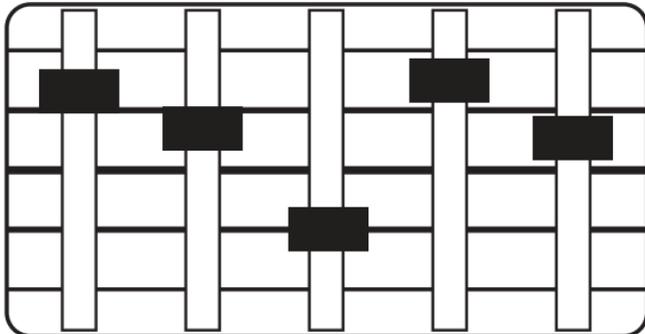
TIGHT MODIFIED V



OUTPUT
LEVEL



INPUT
LEVEL



80Hz

240

750

2200

6600

OUT

IN

Boogie® Five-Band Graphic



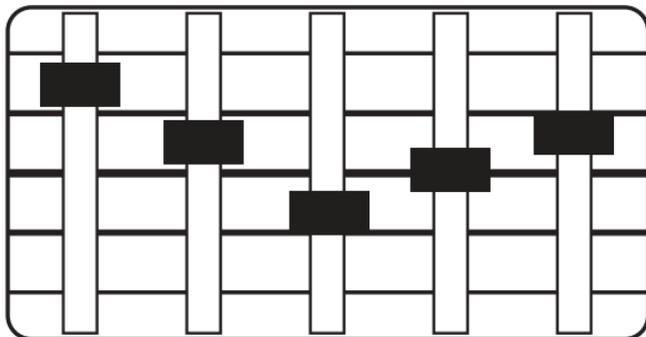
SMOOTH SCOOP



OUTPUT
LEVEL



INPUT
LEVEL



80Hz

240

750

2200

6600

OUT

IN

Boogie® Five-Band Graphic



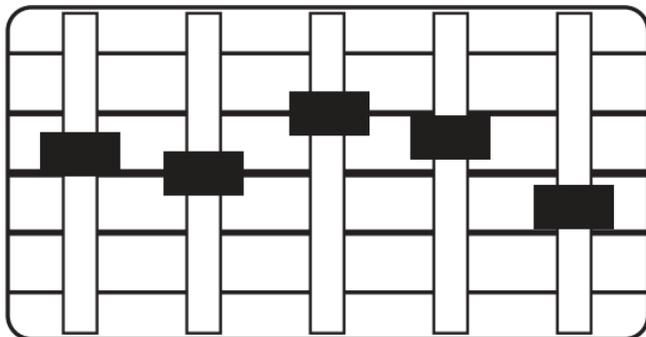
MID-BUMP SOLO



OUTPUT
LEVEL



INPUT
LEVEL



80Hz

240

750

2200

6600

OUT

IN

Boogie® Five-Band Graphic



MESA/BOOGIE[®]

The Spirit of Art in Technology



ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）